

別紙様式

平成16年度大学入学者選抜における大学入試センター試験の教科・科目等の利用方法について
(大学入試センター試験を新たに利用する大学・学部の予告)

大 学

入学志願者に解答させる教科・科目名等 利用する学部(学科、課程、専攻等)名	利用する選抜の対象	入学志願者に解答させる教科・科目名	個別学力検査等の概要	備考
〔記入例〕 学部 学科 課程 ・ ・ ・ ・ ・	一般選抜の定員の一部について利用 入学定員 人中 人	国(国、国・国から1)、地歴(世A、世B、日A、日B、地理A、地理Bから1)、公民(現社、倫、政経から1)、数(数、数・数Aから1)、理(総理、物A、物B、化A、化B、生A、生B、地学A、地学Bから1)から2外(英)	面接	「国語」 「地歴」 「公民」 「数学」 「理科」 について3教科・科目以上受験した場合は高得点の科目を合否判定に使用 「地歴」と「公民」の組合せは不可

記入上の注意

- 「利用する学部(学科、課程、専攻等)名」の欄には、学部等の単位で記入すること。ただし、同一学部等であっても、学科等ごとに異なる入学者選抜を実施する等の場合には、異なる単位ごとに分けて記入すること。
- 「利用する選抜の対象」の欄には、大学入試センター試験の利用について、例えば、いわゆる一般選抜の全部又は一部について利用、専門高校・総合学科卒業生選抜、アドミッション・オフィス入試について利用、推薦入学について利用、第2次募集による選抜について利用等、大学入試センター試験を課す選抜の対象を記入すること。

この場合、一般選抜の一部や推薦入学等定員の一部について利用する大学によっては、当該入学定員の一部の規模(募集人員)が具体的に分かるよう、例えば、「入学定員 人中 人」と記入すること。

- 3 「入学志願者に解答させる教科・科目名」の欄には、各学部(学科、課程、専攻等)で入学志願者に解答させる教科・科目名を記入すること。教科・科目名については、国(国、国・国)、地歴(世A、世B、日A、日B、地理A、地理B)、公民(現社、倫、政経)、数(数、数・数A、数、数・数B、工、簿、情報)、理(総理、物A、物B、化A、化B、生A、生B、地学A、地学B)、外(英、独、仏、中、韓)のように略して記入すること。なお、職業教育を主とする学科の卒業者のみに解答させる科目については、その旨を記入すること。また、国語において特定分野についてのみ利用する場合は、利用する分野を科目名に()を付して記入すること。

(記入例)

国(国・国)、公民(現社、倫、政経から1)、数(数、数・数B、工、簿、情報から1)、理(物B、化B)、外(英、独、仏、中、韓から1)

- 4 「個別学力検査等の概要」の欄には、「利用する選抜の対象」の欄に記入した対象ごとに、個別学力検査等の概要を記入すること。この場合、学力検査を実施する場合には、実施する教科・科目名を記入し(上記3の略のあるものは略して記入すること。)、また、小論文、面接等を実施する場合には、その旨を記入すること。

(記入例)

〔例1〕 地歴(世B、日B、地理Bから1)、外(英、独、仏、中、韓から1)、面接

〔例2〕 理(物B・物、化B・化から1)、外(英)、小論文、実技検査

- 5 成績の複数年度利用を行う場合は、備考欄にその利用方法について記入すること。